

第83期

報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日



梓川と明神岳

株主の皆さまへ

ますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。このたび、代表取締役社長に就任いたしました塩原規男でございます。株主の皆さまには、前任の柳澤に引き続き今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、当社第83期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当期におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景とする緩やかな回復基調の動きがみられた一方で、個人消費の低迷とともに、米国の政策動向や海外経済の不確実性により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

エネルギー業界におきましては、平成28年4月より電力の小売が全面自由化され、多くの事業者が電力小売市場に参入するとともに、元売再編の動きも活発となり環境の変化が加速しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き「エネルギーのベストミックス」を基本に、LPガス・石油類・小売電気・太陽光発電・リフォームや保険等、地域密着型生活関連総合商社としてお客様の暮らしをトータルサポートする提案営業を積極的に展開し、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、コスト削減や適正利益の確保に継続的に取り組んでまいりました。

また、LPガス供給における消費者保安は、当社グループ事業の基本であるとの経営理念に基づき、保安の高度化をさらに進め、LPガス保安確保機器の普及促進に継続して注力してまいりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、株主の皆さまのご支援・ご期待にお応えするため、1株当たり18円とさせていただきます。

サンリングroupは、安心便利なエネルギーを安価で安定的に供給することはもちろん、エネルギーの高効率化や環境負荷の低いエネルギーの普及促進等、エネルギーに求められるニーズに合わせて柔軟に変化をしております。

また、エネルギーの販売を通してお客様のニーズに沿った様々なサービスを提供することで、さらなる企業価値の向上に努めてまいり所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



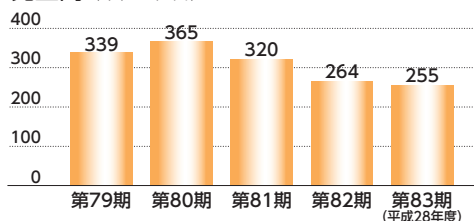
代表取締役社長
塩原規男

平成29年6月

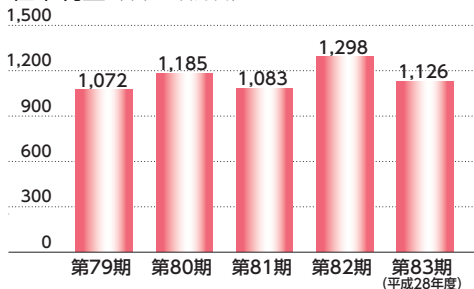
営業の概況(連結)

■財務ハイライト

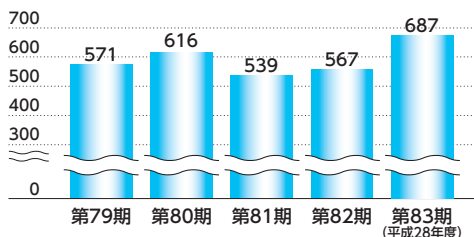
売上高 (単位: 億円)



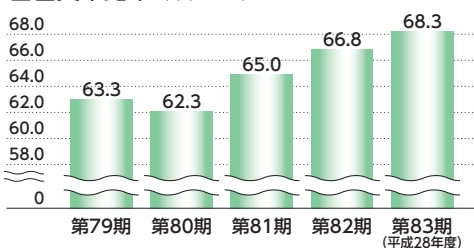
経常利益 (単位: 百万円)



純利益 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



石油事業におきましては、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めてまいりました結果、前連結会計年度を上回る販売数量を確保することができました。また、給油所再編成のためのスクラップ&ビルドの一環として、当連結会計年度末において、設備の老朽化や経済環境の変化から、運動公園通り給油所を閉鎖いたしました。

LPガス事業におきましては、小売電気事業全面自由化を受けて、LPガスと電力小売のセット割販売を強力に推進いたしました。また、LPガスの料金表につきましては、消費者の皆様方がそれぞれのライフスタイルに合った料金プランを選択できるように各種ご用意いたしました。販売店と一体となったキャンペーン、展示会を実施し、ハイブリッド給湯器「エコワン」等の最新の高効率燃焼機器の提案営業による普及拡大を図るとともに、ガスファンヒーターのレンタル等を通じ、LPガス顧客基盤の拡大や顧客接点強化による既存顧客の深耕に努めました。また、LPガス認定販売事業者のうち、全国で約1%の「ゴールド保安認定事業者」として、LPガス保安確保機器の設置に注力した結果、当連結会計年度末における認定対象先は79%を超えました。

小売電気事業におきましては、昨年4月の電力小売全面自由化を受けて、小売電気事業者としてのライセンスを取得し、「サンリンでんき」の名称で電力の販売を開始し、「サンリンでんきで暮らしが変わる」をモットーにLPガスとのセット販売を含めた新規顧客の獲得に努めてまいりました。

太陽光発電事業におきましては、投機的な太陽光発電は減少傾向にありますが、個人や法人の所有資産の有効活用や蓄電池を組み合わせた自家消費型活用への移行等お客様のニーズに果敢に応えるよう引き続き積極的な営業展開を行ってまいりました。また、自社発電設備として、大型の松本発電所(1.9MW)を昨年6月より稼働させ、当連結会計年度末の自社の発電総容量は約6MWとなりました。

リフォーム事業におきましては、新築住宅着工件数が減少傾向にある中で、住宅ストック数は増加し、リフォーム市場は拡大の傾向にあり、お客様の要望に的確に応える営業展開を行ってまいりました。

これらの結果、当年度の連結業績につきましては、売上高は前期比3.1%減の255億85百万円、経常利益は前期比13.2%減の11億26百万円となり、当期純利益は前期比21.0%増の6億87百万円となりました。

財務指標

連結貸借対照表(要旨)

当 期 末 (平成29年3月31日現在)
前 期 末 (平成28年3月31日現在)

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	当期末	前期末	当期末	前期末
資産の部				
流動資産	10,455	10,268		
現金及び預金	5,527	5,726		
受取手形及び売掛金	3,157	2,778		
商品及び製品	1,200	1,068		
仕掛品	5	80		
原材料及び貯蔵品	336	327		
繰延税金資産	146	137		
その他の流動資産	84	151		
貸倒引当金	△ 2	△ 1		
固定資産	13,051	12,756		
有形固定資産	8,671	8,679		
建物及び構築物	2,341	2,066		
機械装置及び運搬具	612	614		
工具、器具及び備品	632	621		
土地	5,080	5,180		
建設仮勘定	4	195		
無形固定資産	132	72		
投資その他の資産	4,247	4,005		
投資有価証券	3,841	3,575		
繰延税金資産	73	100		
差入保証金	182	187		
その他の投資その他の資産	352	351		
貸倒引当金	△ 203	△ 209		
資産合計	23,506	23,024		
負債の部				
流動負債	5,949	6,014		
支払手形及び買掛金	1,984	1,877		
短期借入金	2,896	2,942		
1年内返済予定の長期借入金	161	140		
未払法人税等	176	217		
賞与引当金	230	274		
その他の流動負債	500	561		
固定負債	1,468	1,601		
長期借入金	177	339		
繰延税金負債	132	75		
役員退職慰労引当金	176	212		
退職給付に係る負債	686	721		
資産除去債務	93	53		
その他の固定負債	201	198		
負債合計	7,418	7,615		
純資産の部				
株主資本	15,627	15,173		
資本金	1,512	1,512		
資本剰余金	1,245	1,245		
利益剰余金	12,877	12,423		
自己株式	△ 8	△ 8		
その他の包括利益累計額	431	206		
その他有価証券評価差額金	438	229		
退職給付に係る調整累計額	△ 6	△ 23		
非支配株主持分	29	28		
純資産合計	16,088	15,408		
負債純資産合計	23,506	23,024		

財務指標

連結損益計算書(要旨)

当 期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
前 期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
売上高	25,585	26,416
売上原価	18,605	19,396
売上総利益	6,979	7,020
販売費及び一般管理費	6,072	5,930
営業利益	907	1,090
営業外収益	241	246
営業外費用	21	38
経常利益	1,126	1,298
特別利益	36	10
特別損失	174	341
税金等調整前当期純利益	988	967
法人税等	299	399
当期純利益	688	567
非支配株主に帰属する当期純利益	1	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	687	567

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当 期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
前 期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	974	1,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 741	△ 1,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 420	△ 492
現金及び現金同等物の期末残高	3,663	3,851

トピックス

◆バルク再検査施設の竣工

バルク貯槽20年告示検査期限の時期が迫る中、当社塩尻支店敷地内にバルク再検査施設を建設しました。この施設は、主に「LPガス回収棟」、「バルク貯槽再検査棟」により構成され、バルク貯槽という資源を最大限に生かし、安全に再検査を実施するために全国に先がけて建設されたものです。



再検査施設



ガス回収施設



回収LPガス貯蔵タンク

◆松本山雅FCへの協賛開始

このたび、地域貢献の一環として、サッカーJリーグ (J2) で活躍しています松本山雅FCのスポンサーとして協賛いたしました。協賛内容は松本山雅FCのホームスタジアム「アルウィン」のオーロラビジョン下の壁面に当社の社名とロゴを入れた大看板の設置となります。これにより当社はクラブオフィシャルスポンサー最上位に位置する「プラチナスポンサー」となりました。



オーロラビジョン

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	722名

■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
株式会社八十二銀行	575	4.7
曾根原 充夫	512	4.2
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤 孝雄	346	2.8
等々力 温子	296	2.4
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,755	54.9
金融機関	2,104	17.1
その他の国内法人	3,416	27.8
自己株式	16	0.1
その他	7	0.1

■配当性向(連結)

第79期	第80期	第81期	第82期	第83期 (平成28年度)
38.6%	37.8%	41.0%	41.1%	32.2%

会社の概要 (平成29年3月31日現在)

- 社名 / サンリン株式会社
- 設立 / 昭和9年12月19日
- 資本金 / 15億1,280万円
- 従業員数 / 479名 (グループ人員)
- 事業の内容 / 石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売

■役員の状況 (平成29年6月21日現在)

代表取締役会長	柳 澤 勝 久
代表取締役社長	塩 原 規 男
常務取締役	茂 木 誠 正
常務取締役	金 井 正 平
社外取締役	田 島 晃 孝
取締役	須 澤 充 朗
取締役	高 野 章 志
取締役	中 村 隆 明
取締役	百 瀬 久 志
常勤監査役	川 岸 隆 明
常勤監査役	矢 口 秀 明
社外監査役	山 根 伸 右
社外監査役	井 口 秀 昭

■子会社等 (平成29年6月21日現在)

- 三麟運送株式会社 (一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社 (管工事業)
- サンエネック株式会社 (LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社 (LPガス充填業務)
- サンリンI&F株式会社 (氷製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋 (青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社 (太陽光発電事業)
- 新潟サンリン株式会社 (燃料等卸小売業)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sanrinko.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

営業拠点



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。